

生成AIで挑む、科研費 アイデア出しから研究計画書まで

第1回はアイデアの“産みの苦しみ”を、第2回は様式を“埋める苦しみ”をなくす。全2回・独立受講OK。

第1回 | 7月29日（水）17:30-18:30

アイデア創出編（入門）

すべて無料版でOK・サブスクリプション不要。コードもエディタも不要。生成AI初心者歓迎。

GOAL “産みの苦しみ”をなくす
自分の研究概要.mdを持ち帰る

使うもの：Claude(無料)/Perplexity/NotebookLM/スマホの文字起こし

- 1 ペアで自分の研究を語る → スマホで文字起こし → 生成AIで頭の中の言葉を言語化する
書くより話す方が早い。AIへの入力「語り」から作る。
- 2 Claudeに最先端トピックを10個提案させ、自分に合う1〜2個を選ぶ
思いつかない切り口を、AIに“数で”出させるのがコツ。
- 3 Perplexityで論文・領域トレンドを検索し、鍵になるPDFを2〜3本入手
- 4 NotebookLMにPDFを追加して壁打ち → 研究概要.mdを出力して完成

第2回へつながる

ここで作った研究概要.mdと集めたPDFを、そのまま第2回のサンドボックス（作業フォルダ）に入れて持ってくれば、続きから研究計画書づくりに入れます。

※スマートフォンの持参をお願いします

こんな方へ：次のテーマがまだ固まっていない/生成AIを研究に使ったことがない/アイデアを申請の形に言語化できていない。

第2回 | 8月5日（水）17:30-18:30

研究計画書作成編（実践）

Claude Pro（主催者支給）+Claude Code / Cowork。PC持参・ハンズオン。

GOAL “埋める苦しみ”をなくして、考える時間に md→図表→TeX→PDF

事前準備：サンドボックス（作業フォルダ）に3点を入れておく

① 科研費LaTeXの基盤C用texファイル一式 ② 第1回で集めたPDFたち ③ 自分のアイデアを書いたWord文書

- 1 生成AIにフォルダ内の情報を確認させる（tex様式・PDF・Wordを読み込ませ要約）
- 2 基盤Cの各項目をmdで埋める（項目ごとに出力→人が確認）
1) どんな結果が出そうか 2) 研究動向と本研究の位置づけ 3) 学術的背景・経緯と核心をなす「問い」 4) 何をどのように、どこまで明らかにするか 5) 本研究が有する国際性
- 3 研究体制図を作成（draw.io → png書き出し）
- 4 「2 応募者の研究遂行能力及び研究環境」をAIと整理して記述
- 5 texに流し込み → コンパイル（エラーはログをそのままAIに貼って解決）
- 6 図の貼り付け（体制図・概念図をtexに配置）
- 7 レイアウトの調整 → PDF完成

テンプレート：科研費LaTeX（大阪大・山中卓氏）
osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~taku/kakenhiLaTeX/ コンパイルはローカルまたはOverleafにzipをアップロード。

日時 各回 17:30～18:30（個別相談は19:00まで） ※第2回は17:00開場（セットアップ確認）

講師 中島 崇仁（筑波大学 医学医療系）

対象 若手研究・基盤Cなどの科研費に応募する方 / 各回30名まで（先着順）

特典 参加者にはClaude Pro 1ヶ月分（月額約22ドル相当）のライセンスを主催者が費用負担します（詳細は当日ご案内）。自費で負担いただける方・既にサブスクリプション契約中の方は、定員枠外でも参加できます。

会場：医学医療系483会議室 / 参加申込み・お問い合わせ：tora-seed@gwe.md.tsukuba.ac.jp